



「11.3 成田支部全組合員を激励する会」“御苦労さま”
支部組合員全員があきらめず最後の最後まで本気よく闘った

ジェット闘争の誇りにかけて

理不尽な成田支区廃止攻撃に くやせと、怒りを新たにした職場でなつこいぞろ



十月三十一日、動労千葉・成田運転支区は、一八九七年（明治三十年）に成田機関庫として発
足以来、九十年におよぶ歴史に幕がおろされた。今、全組合員は、職場を奪われ、ジェット闘
争の拠点をつぶされたくやせと怒りで胸がはりさける思いの中で支部は、十一月三日に組合員・家
族八十余名が出席した激励会を開催し、当局による理不尽な廃止にくやせ、怒りをあらた
な職場ではらしてやることを決意した。

あきらめず最後まで闘いぬいた

十八時、大須賀書記長の司会により、万雷の拍
手の中、本年度の退職者、功績章受賞の各氏が紹
介された後、この間支部の重責を負い、動労革マ
ルとの組織争闘戦、八一・三ジェット闘争や、支
区廃止反対の闘いなど多くの先頭でがんばってき
た森内支部長がいさつにたち、「永い間のご協
力に感謝する。われわれの職場が廃止されて悔い
がないと言ったらウソになる。しかし、闘いは全
員があきらめず最後の最後まで闘った。廃止のく
やしさを怒りにかえ、新たな職場で精一杯闘って
ほしい」と訴えた。

北総拠点の誇りにかけて
労働者の魂を守りぬこう

そして、永年、先輩として仲間として苦業をと
もにしてきた退職者の各氏からの激励に「先輩の
苦闘の中でつくりあげた職場は消えるけれども、
ジェット闘争の拠点とし
ての誇りにかけても労働



者の魂を守
りぬくため
皆んなが手
をたささえ
てがんばら
う」と誓い
合った。

全力で闘いぬいた今、
敗北感などありやしない

時は、あつという間に過ぎたが、別れを惜しん
で誰一人として席をたつ人はいない。いつしか大
合唱がはじまった。
感動にわきあがる青年部は、たちまち被解雇者
の全員を舞台に押し出し、胸上げが行われた。そ
こには全員の心が一つとなり、敗北感の微塵すら
ない。
全員が立ち上り、国鉄分割・民営化阻止、国鉄
決戦勝利へ「闘うぞ」「がんばろう」の拍手の中、
退職者を送り出し激励会は大成功のうちに終了し
た。
（成田支部通信員・発）



輝ける三里塚・ペンタ闘争の
歴史とていつまでも



1981.3 ジェット燃料延長阻止闘争